

# 90年近くの時を経て、 素浄瑠璃と横山大観「霊峰一文字」が夢の再共演

2014年1月31日・2月1日／箱根・岡田美術館

岡田美術館（箱根・小涌谷）ではこの度、横山大観「霊峰一文字」（当館所蔵）が大正15年（1926）に制作された当初の姿である「引幕」により近い形を再現し、体験していただこうと、人形浄瑠璃文楽座（大阪）から竹本三輪大夫と鶴澤清志郎を招き、素浄瑠璃の公演を開催致します。大観の作品を背景に、太夫と三味線が一体となり、皆様を物語の世界へ誘います。

横山大観の「霊峰一文字」は、縦約1m、長さ約9mという絹地に、湧き上がる黒雲から姿を現す霊峰富士の雄姿を描いた大作です。大正15年、人形浄瑠璃の舞台の引幕として制作されましたが、ほとんど世に知られないまま秘蔵されていました。画中には大観直筆で「古典藝術の為に 竹本津太夫君に贈る」（現在は別軸に改装）と記されています。1世紀に近い年月が経った今、大観の大作と伝統芸能が再び共演する大変貴重な機会となります。



## 【概要】

日時 2015年1月31日（土）、2月1日（日）

午前の部 11:00～／午後の部 14:00～

（各回約60分。公演前に出演者による説明と小林忠館長からの挨拶があります）

参加費 無料（要入館料）

会場 岡田美術館 2階展示室  
神奈川県足柄下郡箱根町小涌谷 493-1

定員 各回100席限定 **\*事前予約制** 0460-87-3931（美術館代表）  
電話受付時間 9:00～17:00 定員になり次第、お申し込みを締め切らせて頂きます。

出演者 太夫：竹本三輪大夫、三味線：鶴澤清志郎

演目 ○午前の部 <傾城阿波の鳴門 順礼歌の段>  
○午後の部 <一谷嫩(ふたば)軍記 組討の段>